



春日井市立松原中学校  
R2学校便り第28号

# 剛健優雅

令和3年 3月4日  
文責 小林 真

## 第46回卒業証書授与式式辞

三月に入り、日一日と寒さが和らいで、校庭の木々の蕾が膨らみ始め、春の訪れが感じられるようになりました。本日、ここに、多くの保護者の皆様のご臨席のもと、第46回卒業証書授与式が挙行できますことをたいへん光栄に思います。厚く御礼申し上げます。

187名の卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございます。皆さんの歩んだこの三年間の道のりは、平坦なものではなかったと思います。壁に突き当たって思い悩んだりつまずいて傷ついたりしたこともあったでしょう。コロナの脅威とも闘い、でも、自分に負けることなくそれを乗り越えて来たからこそ、今があるのです。皆さんの努力と成長を、心から称えたいと思います。

4月からは、親しい友や慣れ親しんだ中学校に別れを告げ、新しい道へと旅立ちます。そんな皆さんが、新しい道で、全力で頑張ってくれることを期待して、惜しみないエールを送りたいと思います。

思い起こせば3年前の4月、大きめの制服に身を包み、緊張した様子で、中学生となった皆さんが、今、このように心も体も立派に成長して、この松原中学校を旅立とうとしています。そんな皆さんの立派な姿を前に、保護者の皆様も感無量のこととご推察申し上げます。

中学生にはなったけど、右も左もわからないまま、とにかく何でもがむしゃらに頑張った1年生、松原中では、少年自然の家で宿泊をした最後の1年生になりました。

後輩ができて、ちょっと大人を感じながら、キャンプファイヤーで盛り上がった2年生、体育大会・文化祭では「クラスの団結」を強く感じ、後半からは部活動の主役になりました。

いろんな経験を積み重ね、さあ、次は、いよいよ3年生になるぞと希望と目標で胸を膨らませていたところに、2020年1月「新型のウイルスが日本に入ってきた」という突然のニュース、そんな報道が毎日続き、3月には、いきなり「臨時休校」が告げられました。そして4月には「緊急事態宣言」の発出、それに呼応して「休校の延長」次々と広まってゆくウイルスへの感染、先の見えない不安な毎日が続きました。なんとか6月には学校が再開したものの、手探り状態の生活で緊張の毎日、登校する皆さんの顔には「笑顔」はありませんでした。心身共に休まることのない数か月でした。そんな中、新しい生活様式が提唱されて感染拡大が少し落ち着いた7月、気が付くと「夏の大会・発表会」は中止となっていました。この時は、これからの目標を見失いかけた人もいるのではないかと思います。そんな苦しい毎日の生活の中でも、これまで培ってきた学年・学級などの絆で、皆さんは誰一人ドロップアウトすることなく目標を進路に切り替えることができました。

「修学旅行だけは何としても実施する」強い覚悟で何度も予定を変更して、10月に実施した旅行では、皆さんの笑顔が少し取り戻せたような気がしました。また、経済活動が再開すると共に再び感染が拡大し、誰がどこで感染するかわからない状態と言われながら、皆さんと保護者の方々に信頼して行った「学校祭」「学校公開」例年の体育大会・文化祭のように盛大に行うことはできませんでしたが、皆さんのご協力の御蔭で、心に残る行事にすること

ができました。今日ここまで「コロナ感染者0」で学校を運営できたことに、改めて、生徒の皆さん・保護者の皆様に感謝を申し上げます。ご協力、誠に有り難うございました。

そんな皆さんの卒業に際して「絆は何処にいても」という言葉を贈ります。4月からの新しい道では、新しい人間関係を築く苦労や、様々な試練にぶつかることもあるでしょう。そんな時、この松原中学校での生活を思い出してください。「品切れでマスクが買えない時にマスクをわけてくれた友達」「コロナで不安な暗い雰囲気吹き飛ばそうとムードメイクしてくれた友達」「消毒しなきゃダメだよとスプレーをしてくれた友達」「毎日皆さんが下校した後、教室やトイレの消毒をしてくれた先生方」「毎日毎日皆さんのことを一番に考えて面倒を見てくれている保護者の方々」そんな多くの人たちとの絆の中で、お互いに支え・支えられてこの苦難を乗り越えて生活をしてきました。この絆は何処にいても無くなりません。決して消えませんが、辛い時苦しい時は、イチロー選手の言葉「試練はそれを乗り越える可能性のある人にしかやっこない」を思い出してください。新しい道で新しい絆を結んでください。皆さんなら「ウィズコロナ」の時代でも、諦めず、可能性を求めて精一杯頑張ってくれと信じています。

心残りのことは、皆さんの歌声が聴けなかったことです。松原中学校と言えば「合唱コンクール」聴く者の心を揺るがす気持ちのこもった歌声に、毎年大きな感動を与えてもらっていましたが、この状況のおかげで歌を聴くことは叶いませんでした。また、どこかで聴くことができれば幸いです。

最後に、いつものスローガンを伝えます。大切にしてほしいこと三つ。一つめは命です。どんな命も大切にしてください。自分も他人も傷つけないでください。二つめは心です。思いやりの心を忘れないでください。絆を大切にしてください。三つめは未来です。自分と明日は変えられます。未来を切り開く努力を止めないでください。「剛健優雅目指しつつ、明日を開かん一筋に」です。皆さんの今後のご活躍を心からお祈りいたします。

保護者の皆さま、お子さまのご卒業、まことにおめでとうございます。これまでお寄せいただいた温かいご支援、ご協力に、改めて感謝申し上げます。本当に、ありがとうございました。私たちの指導の中には、行き届かない点が多々あったと思います。申し訳ありませんでした。ご容赦いただけると幸いです。どうか、これからも、変わらぬ深い愛情で、お子さまを明るい未来へとお導きください。

卒業生の皆さん、いよいよ、新しい道へスタートを切る時が来ました。これまでの周りの方々の支えを忘れることなく、自信を持って、堂々とそれぞれの道を歩んでください。皆さんが松原中学校第46回卒業生であることを誇りとし、皆さんの前途に、幸多からんことを祈念して、式辞といたします。

令和3年3月3日 春日井市立松原中学校長 小林 真